



令和元年度 『腹の底から笑いあった家族エピソード』 大笑

【優秀賞】

おっちょこちよいなお母さん

栗生小学校五年

竹本 成穂

私のお母さんは毎日仕事も家事も完ペキにこなすしっかりものです。私達が朝、学校へ出かけるときも「忘れ物ない？」「水とうは持った？」など声をかけてくれるので、そこで思い出すことも多く、とても助かっています。

私は姉妹で学校のスイミングクラブに入っています。その練習にも毎回お母さんが仕事が終わってから送ってくださっているのですが、ある日練習に行く直前、お母さんがいつもより仕事の帰りがおそくなってしまったのと、妹がしたくに手間どってしまったのがかさなって、バタバタのまま出かけることになりました。学校に着いて、みんなで車をおりたとき、お母さんが「あれ？水とうは。」と言って急にさがし出しました。「もしかしてわすれたんじゃない？」と言いながらひっしでさがしているお母さんを見て、妹が冷静に「お母さん、かたにかけるとの何？」と言いました。そうです！お母さんは自分のシオルダーバックとまちがえて水とうをかたからかけて

水とうをさがしていたんです。私たちは顔を見合わせて大笑いしました。お母さんは、自分のバックを家に忘れていました。私達は無事に泳ぐことが出来ました。しっかりもののお母さんでも、あせったらこんなこともあるんだなあとほっこりしたしゅん間でした。

令和元年度 『少しのがまん』 川柳大賞

【市長賞】

「おかえり」と

今度はわたしが

言う番に

国府小学校四年

奥本 さくら

（自作の解説）

いつも「おかえり」と言ってくれていたお母さんが、またかんの仕事を始めました。なので今はわたしがお母さんに「おかえり」と言う番になりました。ちょっとさみしいけれど、お母さんもがんばっているのだからわたしもがんばります。

（家族の一言）

かわいい笑顔で毎日、「おかえり」と言ってくれるので家に帰るとつかれもふっとびます。いつもありがとうございます。

令和2年度 夢を応援基金

ひとり親家庭 支援奨学金制度 奨学生募集

全母子協とローソングループが力を合わせ、ひとり親家庭の生徒を給付型奨学金で応援します。

対象 4月現在、中学校3年生、義務教育学校9年生、高校生などの生徒

募集人数 全国400人

※各都道府県から4人以上。

奨学金 月額3万円給付

※返還は不要で、他の奨学金との併用も可能。

対象期間 4月～令和3年3月までの1年間

申請方法 必要書類を広島県ひとり親家庭等福祉連合会に持参、または郵送（〒730-0016広島市中区鞆町3-57中特会館2階）してください。

※申請用紙は、広島県ひとり親家庭等福祉連合会に問い合わせるか、全母子協のホームページからダウンロードしてください。チラシは、女性こども課窓口にあります。

申請期限 4月28日(火)

※郵送の場合は、4月28日(火)必着。

全母子協のホームページ



広島県ひとり親家庭等福祉連合会のホームページ



申請・問い合わせ先 一般財団法人広島県ひとり親家庭等福祉連合会 (☎082-227-2370)